

氏名	小 田 宗 宏		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	博乙第 2039 号		
学位授与の日付	平成元年 9月 30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	ヒト培養肝癌細胞の産生する HBs 抗原の精製方法とその物理化学的特性について		
論文審査委員	教授 辻 孝夫	教授 赤木忠厚	教授 粟井通泰

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

Hepatoma 由来 huGK-14 細胞株が産生する HBs 抗原の精製方法を確立するとともに、得られた精製 HBs 抗原の物理化学的特性を明らかにした。huGK-14 細胞株の無血清培養を行い、HBs 抗原の生産をはかった。得られた培養液の限外濾過膜による濃縮を行った後、抗 HBs モノクローナル抗体および抗ヒトアルブミンポリクローナル抗体によるアフィニティークロマトグラフィーを行った。次いで、塩化セシウムを用いた平衡密度勾配遠心およびショ糖を用いた密度勾配遠心を行い、精製 HBs 抗原を得た。精製 HBs 抗原には Dane 粒子や管状構造を有する抗原は認められず、平均粒子径が 23.2 ± 2.9 nm の均一な粒子であった。精製 HBs 抗原の N 末端側アミノ酸配列（35 残基）および C 末端アミノ酸を調べた結果、adr 型 S 遺伝子の DNA シークエンスから推定されるアミノ酸配列と一致した。また、精製 HBs 抗原について種々の物理化学的特性を調べたところ、ヒト血漿由来の HBs 抗原が示すそれと極めて類似していた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、ヒト培養肝癌細胞を用いて HBs 抗原の精製方法とその物理化学的特性を検討したものであり、得られる HBs 抗原はヒト血漿由来の HBs 抗原と極めて類似したものであるという。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。